全国からの参加者が岡山教会で新たな出会いと交わり

落解放『私の中の部落差別 は「宣教の課題としての部 名を越す参加者が祈りと課

会議が岡山教会にて開催さ

全国各地から二〇〇

別と闘う仲間との連帯が強 備した。また、あらゆる差 との思いをテーマに込め準

められていくことを願って

るその真実な言葉に心打た 実にまたひたむきに語られ 解放の日を確信しつつ、 見えない鎖からの完全なる

プログラムを企画した。 そ

れると共に、

部落差別の陰

(水)、第10回部落解放全国 六月九日 (月) ~十一日

題を携えて集った。 テーマ

の機会によって開催者側で 不安であった。しかし、こ 素養と実力があるか大いに 我々が実際に担えるだけの の全国集会を東中国教区の 段階では、部落解放のため

あるわたしたちこそが、全

うした願いは、三日間のプ

湿かつ卑劣な現実をなんと

せられた。

しても乗り越えていく必要

ログラムの中で実りとはま

だ言えなくとも芽生えとな

を感じさせられた。

る東中国教区にて立ち上げ 理念として、当該教区であ

づきをこの地元・岡山の地

自分自身の問題とされる気

回の全国会議は開催の基本

「解放へのつながり<u>』</u>。 今

新たな出会いと交わりを通 国からの参加者の方々との

して、部落差別「問題」を

ったことであろう。

三日間に亘るプログラム

うじょう)」、「渋染一揆」、

一日目は「美作騒擾(そ

られた実行委員会におい

て、テーマ並びにプログラ

めつつ企画・準備するとい

いく方々の歩みに東中国教

五年間の闘いをなお懸命に

歴史をそれぞれの生活の視

在」の三グループに分かれ

ハンセン病療養所の現

現場研修が行われ、差別の

続けておられる石川一雄さ

容であった。一日目には、 底に深い問い投げかける内 はどれも、わたしたちの根

2008年7月12日

価 1部140円(本体133円干共200円) 1年分 〒共 紙代のみ 5,000 円 3,500 円 振替 00140-9-145275 本紙を購読ご希望の方は、前金を そえて、お近くのキリスト教書店 へお申し込み下さい 教会の購読料は負担金に含みます。

日本基督教団 169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18 日 本 キ リ ス ト 教 会 館 内 電 話 FAX03(3207)3918

発 行 人 内 藤留幸 編集主筆
竹 澤知代志

第 4654 号

完全解放を願し

回部落解放全国会議

でありました。この事は初 問いであり、「部落解放方 センターが、今どこに向か て開催の予定でした。その ょう)に関わる問い」を受 〇〇六年六月に兵庫教区に ました。それは部落解放 備段階で部落解放センタ は兵庫教区の関係者か 「活動の有り様(あり

ありました。事柄は岡山教 三〇年前に岡山教会で起 全国会議の中でかつて約

区で開催する事ができまし を二〇〇八年六月九日(月) センターを支えてくださる 第10回目の全国会議は一 第10回部落解放全国会議 十一日 (水) に東中国教 また、全国の部落解放 うに」と願い、さまざまな いくことを今回の全国会議 解放センター活動委員会に 問いかけられており、部落 の中でもハンセン病のフィ がなくなりますように、全 協議いたしました。 何度も て協議を重ねておりまし 国教区での課題を共に学ぶ 差別と闘う仲間と連帯して ての差別がなくなりますよ 協議を重ねた後、「部落差別 た。改めて問いかけを受け、 ありません。 それまでにも ルドワークを行い、東中 りも、 のこころが優先されたので 神の恵みとして受け取るよ

めて問いかけられた事では た。それ以上は記録がない

差別部落への伝道を行い た。岡山教会はその当時被 の事を考えさせられまし す、大変悲しい出来事です。

人間に芽生える差別

考えさせられました。

| 会での聖餐式の中で起こっ きを得たと報告がありまし を被差別部落出身の方が飲 の杯でまわされたぶどう酒 宣教師が間に入り、ことな は大問題となりましたが、 った事であります。この事 んだ後で聖餐の拒否が起き

私はフィールドワークで

全国から二〇〇名を超える参加 って祝福されたぶどう酒を た。イエス・キリストによ ので解らないとの事でし こさないとしても、

案内してくださった方は二 襲った農民の子孫、もう一 「美作騒擾」(みまさかそう

別部落、ホームレスの方々 も差別ではないだろうかと 知っていながら無視するの 的に出会い、共に生きてい さまざまな差別を受けてい 外国からの就労者、多くの 拒否のような差別事件は起 ました。現在の教会が聖餐 その地で家庭集会をおこな る人、困っている人と積極 会っているだろうか。 受けている人と積極的に出 こうとしているだろうか。 落の人であったと報告され 教会の信徒の/6は被差別部 い深くかかわりをもってい 差別を 被差

だと戸長、金持ちなどの打 からの急速な近代化に戸惑 越感の対象を失った農民 被差別部落の子孫でした。 人は差別され襲撃を受けた 「美作騒擾」とは明治維新 「解放令」により、優 別部落に向けられ、 の矛先(ほこさき)は被差 ちと殺人の暴動、騒擾とな

-揆」 現場研修「渋染ー

働きをされている姿を見せ 摯に受け止め、差別撤廃の

しい事ですが先祖の罪を真

この方にとっては大変苦

ばと思っている。

(指方信平報・実行委員)

られ私は感動しました。全

し、このような差別が二度

| 二年後の開催までに、更に 部落解放への思いを強め、

と起こらない事を願ってフ

ィールドワークを続けてお

今回の芽生えを実りへと少

しずつでも前進していけれ

ち壊しを行い、やがて、 そ 感謝いたします。学んだ事 を私の地元で、部落解放セ 多くの人と出会えたことを 国会議は他にもさまざまな 事を教えられました。また、 回部落解放全国会議を恵み いきたいと思います。第10 プログラムがあり、多くの ンターの歩みの中で考えて

く公表されませんでした った悲しい出来事です。長 当時襲撃した農民の子 えてくださったことを心か ら感謝いたします。 全国会議を覚え祈り支

のうちに終える事が出来ま

ヘミアの醜聞」でのシャー

ロック・ホームズ。▼全く

事実をねじ曲げるようにな

ってしまうからね」…「ボ

つくり出すのでなく、無意

に合う理論を 違いだ。事実

は、大きな間

ないうちに理 ▼「データが

識のうちに理論に合わせて

た事心から感謝していま

誠報·部落解放

うなことを言う。「時代の

だ。その度に、マスコミで 理解に苦しむ事件が相次い

専門家(?)が分かったよ

孫が先祖の罪を明らかに ではテーマ別に六つのグル プに分かれ、更なる研鑽 センター運営委員長) 当然なる所産であって、充 ▼かつてある売れっ子心理 いままに結論めいたことを 学者は、当人と一面識もな 分に予見できたことだ」。

ら生まれ得るキリストの名 仰の正しさを問うところか による差別の不幸を考えさ を深めた。翌日、全体会そ 遣わされた。 る差別からの解放と、互い して派遣礼拝にて、あらゆ 荊冠のキリストが生きて働 の働きのために祈りつつ、 くそれぞれの現場へと再び 第10回全国会議を終え、

者の良心に恥じるとまで言

い切り、テレビでコメント

言うのは無理であって、学

心したが、この度は彼女も するのを止めた。大いに感

登場し、本人と一面識もな

い筈なのに、何のデータも

のを言っていた。▼菜園が ない筈なのに、断定的にも

石川一雄さん 部落差別にもとづく冤罪です」

人々のう

の真実」によって救われ解 よってではなく「キリスト れた。人は信仰の正しさに 放されることを確かめ、信 による聖書研究の時が持た する日を過ごした。その後、

私の中の部落差別~解放へのつながり

く一歩を共に踏み出せたら

んより記念講演を頂いた。

また夜の分科会 東中国教区では部落解放セ

端を担えたこ 心と期待が生 議開催への関 第11回全国会 つ、はやくも な支えにより とを感謝しつ 主催者との一 ンターの多大 一読む者も、生き物なのだ。 とても理屈通りには運ばな 立された理論もある。しか こそ、データに基づいて確 思うようにならない。これ て、神様の言葉も、それを 物も生き物だから。▼そし い。仕方がない。天候も作 し、天候、苗や種の個性、

第 4654 号

第41条の④に位置づけられ

井上さんの資料をもとに教

団体になることの可能性を

求めるべく開催されたもの

会の働きを実質的に継承し

きとして展開される 区・教団の宣教の働

てしまった刑務所伝道委員

収容者の信教の自由の保障

団体への可能性をさぐった。

その可能性について井上

問題を覚えてきた教 されることの困難と 的な活動として展開

応を持って参加し、自主活動

教区代表者はそれらの反

が宣教のわざを個人 の中にあって教誨師

わざとして刑務所伝道と被

師を支えようと守り続けら を実現すべく活動する教誨

喜雄さんから昨年と同様、

『獄の友』33号に掲載された

的な働きとして支え

誨事業協力会を自主

てきた教誨事業協力

れた教誨事業協力会を教規

Ò

日本基督教団の宣教の

任意の団体でありなが

(第三種郵便物認可)

加

以東の教誨師二五名が参

教区の代表者と、中部教区

ることになる協力が各教区

可能性とそこから求められ とで生じてくるさまざまな 会が自主活動団体になるこ

解されたり、また実際その すると、個人的な活動と理

活動団体になることによっ

において可能かどうかのア

てきた。

ンケートと協力依頼をし

しかし厳罰化傾向

 $\overline{\times}$

沖縄教区を除いた十五 教誨師のいない北海教

た。

年総合センターで実施され 国立オリンピック記念青少 代表者会が六月二日~三日 教

力会主催の刑務所伝道教区

日本で開催された。

昨年は同主旨のもと、

西

きと歴史及び協力会の持つ

各教区では当該教誨師の

てした教誨事業協力会の働|ことを願った。

課題と展望についての発題

開催前に協力会は、協力

を受け、協議に入った。

教誨師の働きは従前とも

援されている状況が報告さ

れた。しかし協力会が自主

められることとなった。 事会による一層の努力が求

(山根眞三報)

が教区・地区に理解され、支 働きによって教誨師の働き 日本基督教団教誨事業協

である。

を

第五回「能登半島地震」

員会(以下、 被災教会会堂等再建支援委 |八月三日に、教団会議室で | 潤中部教区議長及び小宮山 委員会)が、

開催された。

委員会記録を確認後、高橋 委員会は、前回 (第四回)

むけて支援献金を新年度の

員会でも報告があったよう

募金については前回の委

支援をお願いしたこと等の めるとともに、 金への感謝を述べ、今後の 区三役及び再建委員長が諸 援委員会募金へ献金するこ 会計から二千万円を教団支 献金一千八百万円目標を定 で二〇〇八年度の震災支援 われたこと、中部教区総会 教区総会に出席して支援献 とを決めたこと、また、教 教区準備金 開かれ、財務諸表等につき を出したこと、支援ニュー 予算に計上のお願いの葉書 ス№2を四月十日付で作成 算委員会は六月五日~六日

災教会再建委員長より、前 剛中部教区能登半島地震被 尾教会牧師館感謝礼拝が行 報告を受けた。その中で七 回の委員会以降の取組みの

算は、厳しい状況の中、財 度決算を確定した。 二〇〇七年度経常会計決

千万円の目標に向け募金推進を再確認

報告があった。

確認し、二00七年

| 〇円。減価償却積立金とし

分したもので、

て収益事業会計より二千万

円を繰入れたことにより、

| 額は、| 三| 七、七九五、七四

力の跡が見られた。収支総

の状況についての説明及び 一八日現在の再建支援募金 次に教団事務局より五月 部再建なる 更に募金の推進 会に発送したことが報告さ

全国諸教会と諸教区総

今後の運営について協議し 引き続き募金、再建計画等 協議に入り前回に

中部教区へ工事費用の一部

三〇、四七六、〇〇〇円を送

金したこと、全国諸教会に

度、被災現地の状況を把握 教区からの報告を受けて再 再建計画については中部

千万円にむけて募金を推 と、「支援ニュース№3」 夏季募金のお願いを出すこ 確認した。また、再建支援 集約していくことを再

を次回委員会で内容を協議

ることとした。

する必要があると思われ、

することを決めた。 教団総会に向けて発行

する予定。

一会としては目標金額一億五

れているものもあるが委員

に様々な形態で募金が行わ

他担当者から報告を受け、 四七、二〇四円となった。

| 前年度比二・| 六%増とな | 団年鑑の部分を統合してい の「教団住宅」「会館管理」 七年度から経常会計より区 教団新報」の三会計と教 収益事業会計は、二〇〇 前年度まで 製品の在庫額が単行本勘定一た。

承認した。損益計算書の売 千万円を経常会計に繰入れ 年度繰越金。このうち、二 上原価の表示が変更され、 については、有澤禧年局長 二九、九四四、九三三円が前 出版局二〇〇七年度決算 当期収入合計は三二 应

三会計の収支差額合計 年データ」の発題と決定し

第35総会期第五回予算決 | 務改善に向けて事務局の努

った。

09年度予算も負担金1%減の方針

)七年度決算なる

ての情報交換と「教団五〇 テーマは、「互助」につい たり、資金及び内容につい

深め、今後の運営を検討す 建委員会の方、被災現地教 て聞き、話し合い、認識を していただき、現状につい 会の教師、役員の方に陪席 次回委員会を被災現地で行 い、その際、中部教区の再 した。 については、前年同様、貸 円。出版界の厳しさを反映 期純利益一、六四四、七五〇 四二、九九二、〇二三円。当 いる。売上総利益としては、 を控除した後の額となって 前年比一三五〇万円減の一 部落解放センターの決算

次回第六回委員会は九月

借対照表等決算様式につい

財務改善と健全化を最優先課題に、予算決算委員会

*************** 八日~九日被災現地で開催 (津村正敏報)

文書管理システム導入にあ

教団事務局が進めている 改善要請が出された。

九月十五~六日とし、主要 ることを確認した。 の整合関係については、 て検討し、承認した。 規を変更せず従来通りとす 全国財務委員長会議は、 負担金算定基準と教規と

全化を最優先課題とした。 総括すれば、財務改善と健 まとめることを決めた。 第35総会期の本委員会を

*********************************** よう、各個教会への提言を |教団五〇年データ」を基| ついては、全国教会財政減 また、予決委員会として 教勢減退を克服できる | その一方で、負担金収入に 〇九年度予算も負担金総額 これを以って五年連続減額 を常議員会に提案する。 退を厳しく受け止め、二〇 %減を編成方針とした。 (鈴木功男報)

ては継続的に「教会学校応

を

得られておらず、困難では ついては、なお十分な理解が

る財政的バックアップ等に

ないかとの意見も出され幹

員会が六月十日(火)、十 祈祷をささげた後、前回議 全員の参加をもって開催さ 階会議室を会場にして委員 教育委員会の働きを覚えて |日 (水)の両日、教団四 岸憲秀委員長が各委員と 第35総会期第六回教育委 った。 グラムへの協力を申し出て の「六甲山YMOA」での 月四日(月)から滞在予定 くださったことは感謝であ 行った。大阪教区教育部が 8」の、特に関西でのプロ プログラムについて協議を 「ユースミッション200 南西ドイツ福音宣教会、ア 会学校応援セット」には リスト教海外医療協力会、 のそれぞれの送金額を決定 会に送金予定であるが、そ イヌ奨学金キリスト教協力 昨年度から始まった「教

五円であった。諸経費を引 支援委員会、教団社会委員 いたほぼ全額を「能登半島 ス献金は、九、八四〇、一三 二〇〇七年度のクリスマ 不足していたとの反省の声 があり、クリスマス献金と 教会・三伝道所からの申込 出することが決定された。 せて四二三、九六一円を支 これまでの積み立てを合わ これについてはアピールが

会 (中越沖地震)、日本キ

が上がった。今委員会とし

誠報)

教教育主事養成を継続する 宛に送付された「キリスト 決定する。 援セット」に力を注ぐこと 件について」の依頼文に対 会で協議し、 の送金先については小委員 を次期委員会に申し送る。 聖和大学より教育委員会 今年度のクリスマス献金 次回委員会で

た。 最後に今総会期の委員会

信とすることが決定され

た文章の字句を訂正し、返

しては、岸委員長の作成し

委員会を終了した。 の原稿の字句を訂正し、ま た申し送り事項を確認して 報告、特に「評価と展望」





15 教区から集まった教誨師

2008年6月13日

山北宣久

日本基督教団総会議長

「クリスチャントゥデイ」に関する声明

2004年4月11日に発刊され、現在はイ

ンターネット新聞として出されている「ク リスチャントゥデイ」については、その当 初より発行団体について疑念が持たれてき ことに韓国における設立者である張在 亨牧師の統一協会の前歴問題をはじめ異端 問題までも提起されている。日本において

も救世軍 山谷真少佐、クリスチャン新聞 根 田祥一氏に対して法的抗争を図るなどをし

日本基督教団としては、これらの疑惑が

解決されない限りキリスト教として同-立つことは出来ないと判断する。 今後一切の関係を持たないと共に、ク リスチャントゥデイ紙創刊号に掲載した祝

辞及びメッセージを取り消す。

会を、最初にもった。委員

が、

今回は、

認

下のことが協議された。

①決算・予算について承

次いで、議事に入り、以

タイ・アメリカ宣教師の帰国報告会

長年の働きを終えて退任、 がタイ・チェンマイで、ま 帰国されたので、 ?、去る六月三日(火)に | き、御三人の数十年にわた第五回世界宣教委員会 | 会と共に会食していただ ユニオン日本語教会での 浅田容子宣教師がNY 浅井重郎宣教師 帰国報告 の諸報告がなされ、 差し上げた。 かち合い、感謝の慰労金を る宣教のご苦労と喜びを分

れた。 退任宣教師感謝ツアーなど ある六委員会、宣教師会議、 この後、世界宣教の下に 承認さ リカ改革派教会との宣教協 ②「日本基督教団とアメ

派遣宣教師帰国報告会にて、右から浅田容子氏、 浅井重郎・スチトラ夫妻 長老教会との宣教協約合意 基督教団とアメリカ合衆国 約合意書案」および「日本 議案とすることに合意し、 ことを作業部会に一任し 議案としての体裁を整える もって議長提案の常議員会 書案」が提示され、これを 二〇〇八年六月九日(月) ・天皇制問題小委員会が、

を行うことになる予定であ 書は、手続きを経れば来る 一〇月の教団総会で調印式 この二つの宣教協約合意 〇日(火)、日本キリ

告書」の小委員会報告につ に続き、第3回教団総会「報 諸報告、前回議事録承認 ねてきた発題や協議内容は 出したとは言い切れない。 大事なものであり、いずれ かの時期に、これまでの講

〇万円の支出を承認。 本語教会)の特別支援費一 ノゼ・ウェスレー合同メソ 松下道成宣教師(サン

第5回世界宣教委員会 彦宣教師(ZYユニオン日 についても公募することに とを決定。また、バンクー 任するので、後任宣教師派 ジスト教会) バー日本語教会への宣教師 遣要請を受け、公募するこ ⑤スリランカのランカ神 が明年一月退

とを決めた。

⑥派遣宣教師および受け

委員がその方を面接するこ

や意見を交換した。「天皇が

木村智次、八木靖之

(二〇〇八・五・二一受允)

同志社女子大学

(二〇〇八・五・二五受允)

について発題を聞き、質疑

沖縄戦を引き起こした」と

いう思い、天皇への反発も

田邉良三、井上博子

(二〇〇八・五・二八受允)

辞(主)千葉敦志

隠退より復帰

就(主)近藤十郎 辞(代)近藤十郎 辞(教)近藤十郎

宗像基

宮本旻祐、船本弘毅

寛、小島一郎、

土橋 晃、三井啓示

就(主)千葉敦志

林比佐雄

しいとの要請に対し、実務

めに作業部会を立ち上げ、 入れ宣教師の内規を作るた

未だに呼んでしまう思いが

正教師登録 聡

柳瀬

(二〇〇八・五・五受按)

ある一方、天皇「陛下」と

学大学から神学教師として ことになった。 その委員は伊藤瑞男委員、

(伊藤瑞男報)

大宮溥氏、棟居勇氏とする

|特定の日本人を派遣して欲

天皇のために命をかけた。 分たちは正しいと信じて、 はない。しかし戦争中、 もう神さま以外を拝むこと ある。「神以外に神はない。

北川善也、久保見誠

足立麻子、上林護 若林一義、相見泰惠

高橋 潔、張 悦子

沖縄の視点から見た天皇制で発

題

第35回総会期第四回靖国

について協議した。 どうし

ような形でまとめ、

諸教会

徒の声が紹介された。また、

欲しくない」というある信

梅田正二

の苦悩を知らずに、簡単に ることはできなかった。 そ 戦後、簡単に心を切り替え

藤原信之、森岡高康

(二〇〇八・五・六受按)

(二〇〇八・五・一九受按)

(当時のこと) を批判して

天皇へのうらみや憎しみで

嶋田律之、松井

初

(二〇〇八・五・二五受按)

たら靖国神社問題や天皇制

葉子宣教師(カナダ・フレ リン日本語教会)及び木原 関する事柄が取り上げら -ザーバレー日系人教会) ③何人かの派遣宣教師に 秋葉睦子宣教師(ベル われた。 開会礼拝の後、議事日程が スト教会館四階会議室で開 承認され、報告・協議が行 催された。 いて確認し、 西之園路子委員長による 「評価と展望」

> った。その答えを未だ見い 委員会でも大きな課題であ

小委員会が積み重

ことを承認した。

二日目は、芳澤信委員よ

本聖書神学校講師)を講師 野県短期大学名誉教授、

靖国神社の歴史に

日本基督教団出版局

就(教)有澤禧年

を、社会委員会に申し出る

開催。一日目に塩入隆氏(長

 \Box

大阪九條

辞(代)大門義和

辞(担)鵜沼義民

就(主)山口純弘

のお願い」の教団への提出

日(木)~十二日

金

東京聖書学校吉川

就(主)稗田みどり

第五回委員会は九月十一

天皇制問題小委員会継続

られるのか、そのことは前

期委員会に引き続き、今期

うため、「第36総会期

れた。

塩谷 一粒

辞(主)大友英樹

教師異動

今後もこれらの課題を担

会の中にあることを知らさ

問題が各個教会で切迫した

の手がかりとなればとの願

はなく、天皇のためにも祈

川中真

(二〇〇八・五・二八受按)

ろうという思いが沖縄の教

がこの課題と取り組むため

重要な問題として受け止め

いを持っている。

る。

佐原英一氏 (隠退教師)

の任期延長を承認。相良昌

消

息

演内容等をパンフレットの

化

歴史、人々の思い等に

皇制」を主題に、沖縄の文 り、「沖縄の視点から見た天

ついて講演いただく。

(西之園路子報)

青山学院大学

その後、今治教会を牧会し、 後、弓町本郷教会に赴任。 九年同志社大学大学院修了 京都府に生まれる。 一九六 示都葵教会牧師を務め隠退 七六年から二〇〇八年まで した。七六年から二年間、 五月八日、逝去。六三歳。 出町、福野各教会·伝道所 その後国分、鹿児島城南、 九六一年日本聖書神学校卒 業後、田園調布教会に赴任

ている。

長岡京教会、八一年から二 は妻の良子さん。 年間、田辺地の塩伝道所兼 藤原 務牧師として勤めた。 亨氏 (教務教師) 遺族 鮎川健一、大庭康男

補教師登録 事務局

八 束 栗田三郎、三浦永悟 海老原道宣、望月達朗 (二〇〇八・四・二九受允)

青士吾、

逝去。

熊本県に生まれる。

藤川義人 浅場知毅、大山 (二〇〇八・五・五受允)

山本文雄、佐原英一山里勝一、佐藤千郎

教師隠退

―教務教師として奉職し 北海道クリスチャンセンタ を牧会し、二〇〇七年から た。遺族は妻の義子さん。 駒木

筒井省行、三浦 啓井原恵美子、林 昌利 橋口 望、山口元気 岡田いわお、木下恵美子 赤刎正清、石川はるみ 古森敬子、芹野 (二〇〇八・五・六受允) 亮、齋藤真行 創

佐野 治、杉本和道 野口忠子、管家英治 荒木富益、西川和子 (二〇〇八・五・二〇受允) (二〇〇八・五・一九受允) 野方町 阿佐ヶ谷 名古屋東辞(主)清水与志雄 弦巻 竹原 北柏めぐ " 就(主)清水与志雄 就(担)姜 辞(担)姜 就(代)林比佐雄

森嶋道

原宿 上富坂 駒場エデン " /み辞(担)中川知子 辞(代)荒川純太郎 辞(主)遠藤年之就(代)関川泰寛 就(主)角田 就(主)石田 就(教)大宮 \辞(担)山口智子 就(主)山口智子 就(主)遠藤年之 潤 青山学院大学 東京聖書学校

仙台松陵 辞(主)深田 寛 小平学園辞(主)宗像基 就(代)山崎正幸 就(教)谷口裕子 就(教)大友英樹 就(主)田尻真介 辞(代)吉澤 永 日語部主任牧師 教師、要英語力

上木太田八幡 周船寺 別府不老町辞(主)吉住高志 長崎馬町 山形学院高等学校 東京新生 辞(主)横山義孝 就(教)三ツ本武仁 就(主)星野江理香 辞(主)信太聖吾 就(主)福永秀光 辞(主)沖田康孝 就(代)吉武二郎 辞(主)福永秀光 就(主)森言一郎 辞(主)秋永好晴 辞(主)正井陽子 就(主)戸井雄二 辞(代)中光弘治 辞(担)澁谷弘祐 辞(担)前島隆志 辞(担)横山基生 就(担)横山義孝 就(代)石井美琴 辞(代)柳谷 明 就(代)中村信博 就(主)横山基生 当該教会に開示された」に 開示された」を、「教区総 月前にはじめて当該教会に 事中の、「教区総会の約一ヶ 取扱いを巡り議論』を、『「訴 出し『「訴願なるもの」の 笠置隆司→廣瀬隆司 お詫び・訂正新報四六五 会の約一週間前にはじめて 願」の取扱いを巡り議論』 一号二面北海教区総会の見 大正めぐみ 白砂千衣子→落合千衣子 秋山 泉→鈴木 泉 鹿屋伝道所 鹿児島県神石 に変更致します。また、記 教師改姓 郡神石高原町小畠二一六 教会設立 〇 樗木千鶴子方 教会通信先変更 (大正伝道所より)

辞(主)田尻真介 就(主)信太聖吾 お詫びして訂正致します。 ①米国・ウェスレー合同 《宣教師公募 各1名》 メソジスト教会(サン ノゼ)日語部主任牧師

松山東雲中学・高校 金沢南部 辞(主)三和紀夫 辞(教)辻村佳子 就(主)横山正美 ◎選考=書類と9月25日 ◎資格=日本基督教団正 ②カナダ合同教会バンク ◎締め切り=2008年 9月12日 (金) 必着 の面接をもって決定 バー日系人合同教会

にという、前向きな気持ちになれ

九五〇年代からあり、はじめは

記録によると、この会の前身は、

さた様子が伝わってきて、今年も

/達が励ましと希望を与えられて

쌷非、良い会を開催できますよう

らになります。

姿の重さと同時に、 責任の重さが

りと重い袋が引き継がれます。

炉にのしかかってくるような気持

孒会」について紹介させていただ

中部教区愛知西地区の「ベター

初は「愛岐地区牧師夫人会」とい

この会には長い歴史があり、

7名称で、 一九六六年からの記録

教

が残されています。

毎年二・三名が交代で当番とな



中部教区愛知西地区「ベタ

して「ベタニア会」となったのが、 九九〇年です。最初の頃からこ

「牧師夫人会」という名称を見直

学びと親睦 こ成長す る会

小林 英子 (熱田教会員)

の方々のお支えによって今日まで 会でありたいと思います。 王の恵みを受けて成長していける **経験を積んだ人まで、共に集い** にものをいただいています。 多く 買用は、地区会計から予算化され これからも、若い人から多くの 最後になりましたが、 この会の

願っています。 らもずっと続けていけるようにと

私たちではなく、その

り、東京外国語大学ではドイツ シュタイナー教育への関心か

り組み、大学時代は避けた教職

はないか」。もう一度教育学に取

「もっとできることがあるので

と見られる。しかし、これも主 人からは「大変な決断をしたね」

課程を通信教育で取り、教員免

っかけが積み重なって、ここま だと思う。「一つ一つの小さなき の選択の中にはあったことなの

で来ました。 備えられた道でし

たり、教育学にも関心を持った*。*

英語教育の手法について考え

者の若林俊輔と出会い、

英語教

母校での教育実習中、「あなた

holden in the angle of the state of the stat

夫と共に生きる ても、福音伝道のために献身した 者同士、悩みや

させていただくのですが、その当

年に一度の研修会のお世話を

兮までの記録ノートの入ったずっ

≇になるとまず、前年度の方から、

ニア村のような ルタのように忙 いできる、ベタ 様と親しくお会 者達が、イエス ければならない しく立ち働かな 聞きながら、マ リアのようにた い、そして、「マ かち合い、共に くさん御言葉を 成長していきた 経験や恵みを分

めて準備がなされ、共に学び、共

で開いてみると、毎年毎年心をこ

けれども、いざその記録ノート

に語り合うことによって、多くの

第49回ベタニア会研修会、2008.2.4

てお話を伺ったり、 会でありたい」という願いが込め

その第一回目が一九六六年でし

た。はじめの頃は年に二回、その

らの手で行う「研修会」となり、

後は年に一回ずつ開催され、

今年

度は第五〇回目を迎えることにな

だったようです。後に牧師夫人自

信徒側主催の「慰労会」という形

もなされています。 理の講習をしたり、と様々な工夫 光地を見学したり、おもてなし料 続けられ、その年によって、讃美 歌やゴスペルを楽しく歌ったり --ンチャイムの演奏にチャレン 礼拝、昼食、自己紹介や話し合 したり、講師の先生をお迎えし という基本的な内容はずっと 福祉施設や観

で少し淋しい気がしますが、その 区で、参加者が十五人足らずなの 親しい交わりのできる会となって 分一人一人の話をじっくりと聞く いか、三五教会・伝道所のある地 ことができ、温かい雰囲気の中で、 最近は仕事を持つ人も増えたせ

思ってもいなかった」。ただ、

三時は英和の生徒は教会に行く

クサスの立ち上げに誘われ、そ

に就職。一〇年後、トヨタのレ

ちらに移る。

車によって人生を

就職も決まった。信仰の転機が

もなく受洗、ちょうど母校への

求道生活が始まった。 その後間

ない子、できない子の気持ちが 生徒だったかもしれない。「やら

せんでした」。

っていた母を亡くし、いっぺん

に信仰が問われ、銀座教会での

卒業後、

メルセデス・ベンツ

た。「選択肢の中には入っていま

会。

実習を終えた頃、ガンと闘

ら尋ねられ、キリスト教とも再

教職課程の単位は取らなかっ

分からず、教師になどなるとは

参加していました。

それぞれに立場は少しずつ違っ

帥・無任所教師の夫人(妻)達が 伝道師・牧師・教務教師・隠退教 の会には、「牧師」夫人だけでなく、

いいいいだ

り、岩本ワーカーはすべて を持つ人も-八人が暮らし 知的ハンディを持ったメン 保健医療従事者をアジア・ ています。テゼ共同体は他 的な障がいや重い精神疾患 区)の子供や大人達ー身体 ル(華の家)」での活動の アフリカへ派遣しています。 に二つの家も運営してお にめです。九歳~二八歳(推 4直美さんです。 バングラ に関わっていく予定です。 シュのテゼ共同体による -の家「プシュポ・ニー 句は、「平和をつくり出す り添う場所です。子供達の できたことの延長線上で がいのある人々と共に歩ん 子供達一人ひとりの存在な のではなく、ただ彼らに寄 は、問題解決のためにある 今に至っています。「ニール ら、「平和をつくり出すの 現地の子供達との出会いか 人々は幸いである」です。 再び出発しました。 ついて語りたい」と語り、 「闇」ではなく、『光』に JOCSの掲げる基本聖

ないか、と振り返る。

ることの難しさにも直面する。

迫への備えとなっていたのでは

た。しかし、

男社会で認められ

道を、あえて自ら選び取る姿は、 自分の選択肢の中にはなかった 母校での奉職の機ともなった。

き、それを知ってもらいたかっ 豊かにするカルチャーに気づ

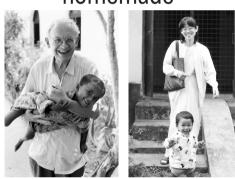
兵に過ごした経験が、後の求

聖ヶ丘教会で先輩たちや友人ら のが当たり前で、高等部の頃に

る。路上で生活していた彼 等しい)』、そして『死んだ てられ、『Nothing(無に らは、親にごみのように捨 44児院にいたストリートチ 子供達の中には、 ダッカの ルドレン五人も含まれてい (も同然)』存在だった」 「今あるニール (家)の 「子供達は、幼い頃から愛 た。共に生きることの意味 "Happiness ます。私の好きな言葉に、 で捨てられていた孤児は、 ダッカに死んだに等しい形 のだ」と教えられました。 について深く考えさせられ 「イエス・キリスト」でし

情に飢え渇き、『自分が大切 か持てない。家では『人と な存在である』 という感覚 う。 生み出されていきます。 関係、心が通う温かな居場 があります。愛と慈しみの homemade."という言葉 ていくのでしょ (家) から、「平和 (大江

"Happiness is homemade"



フランク(左)、 岩本直美ワー ーカー(右)

カー二人を加え計八人の 今年度新ワ が語った言葉です。 岩本ワーカーは、

テゼ共同体ブラザー

馬鹿にし、 教師から見たら嫌な 人ト教に触れたが、世の中を小 学院中学に入学して初めてキリ 「冷めた優等生」。 東洋英和女

中田 典子さん

備えられた道を回って、 母校の教諭に



1968年生まれ。銀座教会員。 洋英和女学院中高 英語科教諭。

間在任したが、 天されたが、葬儀は仏式で行われ キリスト教を希望するものの、親族 た。家族は本人の信仰を尊重して いない。在任中、

家族は仏式の葬儀が終わった後で、 本人が教会に出 もう一人のケー 教会で記念会を開いたのであった。 からすぐに教会 スは、召天されて 席していたことを へ連絡をしてきた。

一度も葬儀をして 一人の教会員が召 いうことであった。 さんにお祈りをしてもらいたいと ものの、和尚さんが来る前に牧師 知っているので、仏式で葬儀を行う

分の葬儀を用意しておかないと。 は五〇名である。こんなに多くの 年である。この間、教会員の葬儀は 皆さんの葬儀を行う。そろそろ自 二〇名であり、施設や幼稚園関係 現在の教会で牧会すること三〇

かに歌い、終祷をささげている。(教 い。葬儀の最後であり、頌栄を高ら 葬儀式文には、「お骨上げ」が無 団総会書記 鈴木伸治)

て帰った。火曜日のことである。帰っ ありがとうございました」と言わ こ間も無く連絡があり、 この週の ⁻心に残る葬儀をしていただき、 務めを果たしたとの思いをもつ

別式と続き、その翌日も前夜式が あり、告別式へと続いた。 は連続の葬儀があった。前夜式・告

施設、 幼稚園関係者もキリスト教 んであるが、二つの社会福祉法人の 葬儀が多いのは、教会はもちろ 前任の宮城県の教会では、

今週も葬儀が続くが、一ヶ月前に 土曜日に葬儀を行うことになった。

葬儀の 終わりに

縁者の意思が重要となる。そこで、